

組織の概要

1. 会社概要

本社所在地：広島市南区皆実町2丁目7-1

創立：1909年10月

資本金：52億25百万円

従業員：685名（2021年3月末）

都市ガス供給エリア：東広島市を含む7市4町



広島ガス防災センタービル（左）
広島ガス本社（右）

2. 広島ガスグループ2050年カーボンニュートラルへの取り組み

当社は、1909年の創業以来、110年以上にわたり地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。エネルギー業界を取り巻く状況は、ガス・電力市場の小売全面自由化に加え、2050年までに脱炭素化社会の実現を目指す政府方針が示され、大きな転換期を迎えています。

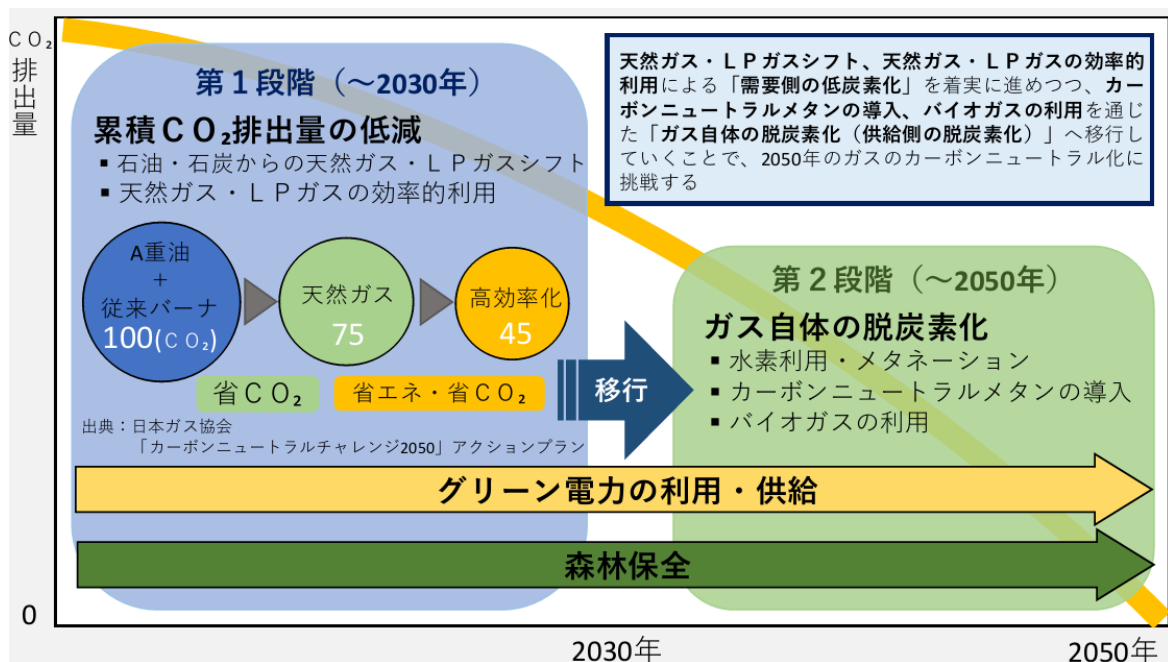
こうした中、当社は、2021年11月に「広島ガスグループ2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定・公表しました。

2-1. 2050年までのステップ

まず、2030年までを第1段階とし、「徹底した天然ガス・LPガスシフトおよび効率的利用」の推進により、事業活動やお客さま先におけるCO2削減に貢献してまいります。またLNG バンカリング（船舶へのLNG供給）など、LNGの供給先や利用用途の多様化にも取り組んでまいります。

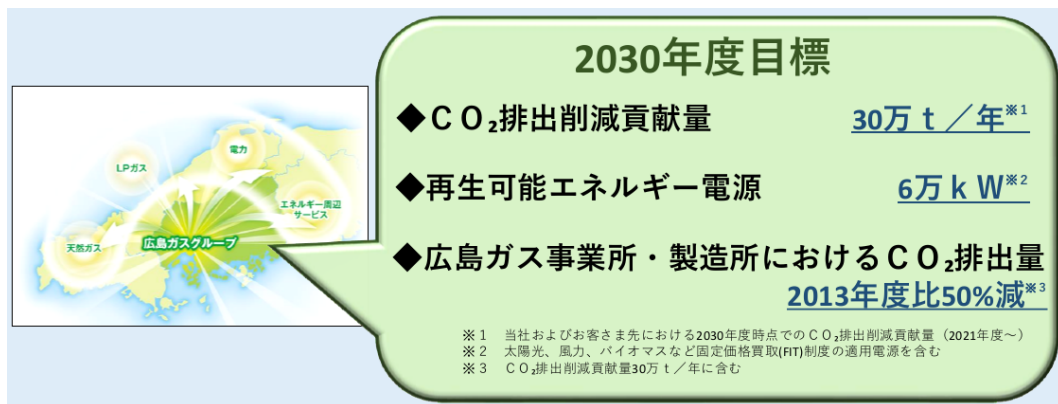
さらに、再生可能エネルギー電源による電源の脱炭素化およびグリーン電力の供給、里山再生などの森林保全活動にも取り組み、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

次に、2050年までを第2段階として、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組んでまいります。カーボンニュートラルメタンの導入、バイオガスの利用を通じたガス自体の脱炭素化へ移行していくことで、2050年のカーボンニュートラルの実現に挑戦してまいります。



2-2. 2030年度目標

2050年カーボンニュートラルに向けた2030年度目標として、30万tのCO₂排出削減貢献量、再生可能エネルギー電源を6万kW、広島ガス事業所・製造所におけるCO₂排出量を2013年度比で50%削減を目指してまいります。



東広島市における主な活動

3. 小水力発電事業への参入

カーボンニュートラルに向けた取り組みの一つとして、地域に根差したクリーンエネルギーの活用による環境保全および地域貢献のために、志和堀電化農業協同組合から志和堀発電所（最大出力95kW）を取得し、小水力発電事業に参入しました。なお、日常点検等設備の運転管理は志和堀電化農業協同組合と連携して実施しています。

3－1．設備概要

発電所所在地	東広島市志和町志和堀字関川山1124
認可最大出力	95.0kW
水利使用河川名	太田川水系三篠川支流関川
運転開始日	1954年9月
当社による運用開始日	2021年6月

3－2．現地の状況



取水堰および導水路



発電室外観



水車および発電機

《所在地・連絡先》

〒734-0007

広島県広島市南区皆実町2-7-1

TEL 082-252-3018

ホームページ <https://www.hiroshima-gas.co.jp/>

12 かっぱのおうち

組織の概要

広島大学・大学院の中で自然環境に関心を持っている学生で結成している団体です。川は色々な生き物の住処であることから、川の生き物を代表して、“かっぱのおうち”と名付けられました。黒瀬川が、子どもが安心して遊べるくらいキレイになればとの願いから、地域の方にもっと知ってもらい、好きになってもらうために、・黒瀬川をあるこう（自然ハイク）・黒瀬川流域ガイドブックの作成・環境イベントへの出展などの活動を地域の方と一緒に実践していきたいと考えています。

2021年の主な活動

山のグラウンドワーク 現場視察

7月12日（月）、27日（火）

西条・山と水の環境機構の山のグラウンドワークにおいて、8日8日に実施予定であった「みどりの少年団」の水辺教室のスタッフとして2名が参加し、活動に向けてのミーティングおよび現場の視察・フィールドの下見などを行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 1-3-2, 3-1-1

展示ブーススタッフ

7月31日（日）

脱温暖化キャラバン IN豊栄 里山ネイチャーデイキャンプにおいて、「ひがしひろしまモバイルミュージアム」&「半尾川再生まちづくり倶楽部」による展示ブースのスタッフとして1名が参加し、展示の補助を行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 1-3-2, 3-1-1

「ひがしひろしまモバイル
ミュージアム」の展示の様子



三段峡での活動

6月～12月

2019年から広島大学の実施する「地域の元気応援プロジェクト」において、安芸太田町三段峡での活動を継続しています。2021年は、感染状況に配慮しつつビジターセンターの博物館化を目指し、博物館設備の整備、資料の作成・調査を行っています。また、Web図鑑の作成も同時並行で進めています。

※三段峡で活躍する特例認定NPO法人三段峡一太田川流域研究会（さんけん）と共同で、三段峡を訪れる様々なバックグラウンドの人々を対象に、三段峡の豊かな自然や文化の保存・教育の場の整備を目的とした「三段峡博物館企画」を実行中です。

【取組みの展開】 1-1-2, 1-2-2, 2-2-3, 3-3-1, 3-3-2

三段峡の伝統食文化である
「とち餅」づくり見学のようす



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

これまでと同じく、「地域みなさんに身近な自然に親しんでもらう」、「生きものの住み家を守る」ことを活動の軸に、学生ならではの形で地域の自然と住民をつなぐ様々な活動に取り組んでいきたいです。2022年は龍王山や黒瀬川水系の生物調査や観察会などを通して、地域の自然の魅力発信に努めます。

《所在地・連絡先》

〒739-8521

広島県広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学総合科学部 中坪研究室

TEL 082-424-6514

ホームページ <https://nakatsubo-lab.jp/>（中坪研究室HP）

入会方法 中坪研究室の学生までご連絡をください。

会費 特になし

組織の概要

【森のぬくもりを伝えたい】

このスローガンのもと広島県を中心に、中国地方全域で活動しております。薪ストーブや、ミニログハウスの販売・施工を通じて、自然に寄り添うライフスタイルの提案、里山整備につながる薪づくりなど、二酸化炭素の削減に貢献しています。

2021年の主な活動

脱温暖化キャラバンIN豊栄

7月31日（土）

東広島初のテントサウナの実演、真夏の開催で暑い日でしたが、サウナで『ととのう』を体験出来た方もいました。

【取組みの展開】 1-1-2, 2-2-4

**ひがしひろしま環境フェア**

10月24（日）

薪ストーブの実演、時期も良く、多くの方に薪ストーブの暖かさを体感頂けました。

【取組みの展開】 2-2-4

**伐採木・端材の有効活用**

伐採業者・製材業者と薪ストーブユーザーの橋渡し。

【取組みの展開】 2-1-1, 2-2-4

薪ストーブの二酸化炭素排出削減量は1台で平均3トン（年間）との研究報告がでており、調査の行われた長野県と比べると東広島市は温暖な地域ですが、年間1トン～3トンの削減量を見込んでいます。





2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

薪火をもっと身近に

再生可能エネルギーで、二酸化炭素の排出量ゼロの薪火、薪作りワークショップや、薪の駅、薪ステーションを作り、自伐林家からの薪の買取り、安価で安定的に供給できるシステムの構築を目指します。

コロナ禍で便利より豊かな生活に注目が集まっており、キャンプブームも相成り薪火を楽しまれる方が増えています。「薪が売れば里山整備に繋がる」このサイクルをしっかりと作っていきたいです。

《所在地・連絡先》

<東広島営業所>

〒739-0262

広島県東広島市志和町志和東1710-1

TEL 082-433-6228

<本社>

〒739-0321

広島県広島市安芸区中野2-3-15

TEL 082-893-3900 FAX 082-893-1285

ホームページ <http://www.no-muhiroba.com>



LINE

組織の概要

本研究センターでは、持続可能な社会や流域環境の保全を目指し、様々な資源（地下資源、水資源、生物資源など）の持続的な利用、すなわち健全な物質循環に関する研究を進めています。国際的な連携・共同研究とともに地域貢献につながる研究も進めています。

代表：小野寺真一、関係する教員25名、大学院生6名

広島大学SATOインキュベーション研究拠点
SATO research center

BIGHANDS



SATO拠点とは HURu-Sato; Healthy Urban - Rural cycle in Setouchi to Asian catchments, toward SDGs

本拠点では、都市化の進むアジアにおける都市とその周辺との健全な循環（人、食糧を含む）の創成を目指すものであり、里山/里海などの成功事例を有する瀬戸内海流域をもとにアジア諸国での課題解決に資する、新たな学術研究分野の創成を目指すものであり、SDGsにも貢献するものである。

研究センターのホームページは「所在地・連絡先」をご覧ください。

2021年の主な活動

【シンポジウムの開催】共催、協賛を含む

- ①1月22日（金） International Workshop of Water Resources and Nutrient Flux Managements in Asian Coastal Cities for SDGs, ハイブリッド（広島大学総合K305）
- ②3月15日（月） 流域圏健全循環と持続可能性～流域管理編～, ハイブリッド（広島大学総合第1会議室）
- ③7月31日（土） 地域と環境の持続可能性 -酒都西条-, ハイブリッド（広島大学総合K305）
- ④10月23日（土） International Workshop of Nutrient Issues and Managements in Asian Coastal Cities for SDGs, オンライン
- ⑤12月7日（火） 瀬戸内海島嶼地域の開発、暮らし、自然環境—江戸時代から現在まで—、ハイブリッド（広島大学総合第1会議室）など

【取組みの展開】 1-2-1, 1-2-2, 1-2-3, 2-3-1

【現地検討会の開催】

⑥3月9日（火）, 10日（水）：岡山県真庭市バイオマス産業都市・SDGs未来都市現地検討会

⑦7月10日（土）：尾道市干潟観察

⑧8月7日（土）：呉市大崎下島 非常用水源管理と地域 検討会 など

【取組みの展開】 1-1-1, 1-2-1, 1-2-2, 1-2-3, 2-2-1, 2-2-2, 2-3-1

【地域貢献研究】

⑨東広島市 西条 龍王山流域 地下水涵養-保全研究

⑩呉市大崎下島、久比地区 地下水再利用研究

【取組みの展開】 1-1-1, 1-3-1, 2-3-1



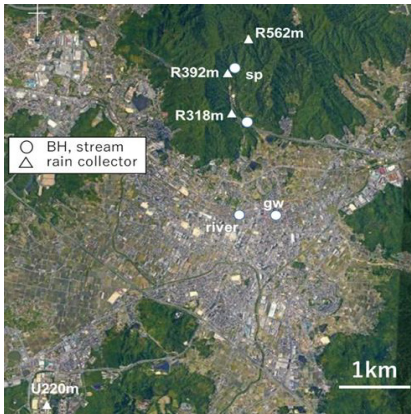
③シンポジウム



④国際WS



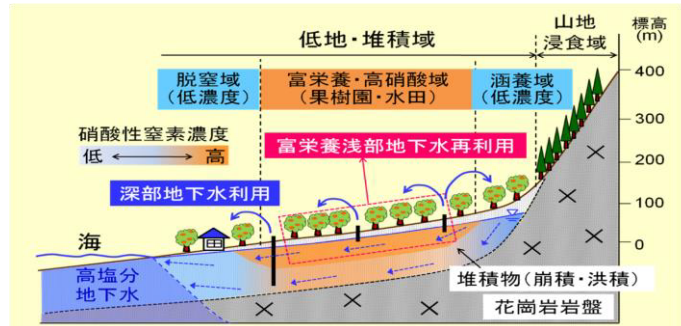
⑥真庭市現地検討会



⑨地域貢献研究：東広島市龍王山流域、水環境（河川-地下水）モニタリング

1) 水利用の実践プロジェクト

- ①スプリンクラー等での散水（農業、園芸、打ち水）
- ②風呂、洗濯、トイレでの利用
- ③そのための揚水能力試験と水質変化調査



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

これまで前身のプロジェクトで行ってきたシンポジウム や現地見学会などの開催に加えて、研究センターとして海外共同研究や地域貢献研究についても、推進していく予定です。特に地域課題の理解と問題解決のために、地域貢献研究については、大学の役割の一つとして、地域との交流を含めて推進していきたいと思います。

《所在地・連絡先》

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1 TEL:082-424-6496

E-mail sonodera@hiroshima-u.ac.jp

ホームページ <https://mtcatwg.Hiroshima-u.ac.jp/sat/index.html.html>

組織の概要

平成27年7月豊栄町に新しい農業を中心とした会社として産声をあげました。地域の皆様と明るく元気で魅力ある地域づくりを目指しています。

お米作りを中心とした農業を展開することで持続可能な農林業の実現を志しています。

担い手育成にも重点を据え、I・Uターンをしてもらえるよう努力しています。

2021年の主な活動

伐採したりんごの木でピザ作り体験

経営している小石川観光りんご園内でピザ作り体験をしました。薪は、園内で伐採したりんごの木を使用しました。体験に来られた方には、薪割りから体験してもらい、薪は伐採されたりんごの木を使用していることを説明しました。りんご園内でりんごの木を使ってりんごピザを焼くというのが大変好評でした。

【取組みの展開】1-1-2

間伐材は園内の敷料に使用

冬の間のりんごの木の剪定作業で出る間伐材はチップ化し園内の敷料にしています。子どもの来園が多く、バラスを敷くことにより転倒時の安全性が保たれています。

【取組みの展開】1-1-2, 2-1-1

1haの荒れ地開墾及び周辺の山林整備

薪ストーブの設置

事務所に薪ストーブを設置し、エアコンの使用をなるべく控えるようにしました。

【取組みの展開】2-2-1



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

- ・ 荒れ地開墾
- ・ 子供を対象とした鶏と水田の体験の増加
- ・ 山林の整備を兼ねた薪の調達を予定しています。



《所在地・連絡先》

〒739-2313

広島県広島県東広島市豊栄町清武11367

TEL 082-432-2215

ホームページ <https://www.kamo-pj.com>



組織の概要

建築士会東広島支部は主に東広島市、竹原市、大崎上島町で活動している建築士の団体です。建築士相互の交流と社会活動の実践を目的としています。

また、市民に開かれた建築士会の活動として、市民と共に身近で興味深い事案について研修会を行う「建研塾（けんけんじゅく）」を開設し、地域社会に貢献する有益な提言とその実現に向かって行動しています。

2021年の主な活動

建研塾の開催

【テーマ】 「西条の水について」

【開催日時】 12月4日（土）10時～12時

【講師】 広島国際学院大学工学部 教授 竹野健次 様

【場所】 楠本建設株式会社大会議室（建築士会東広島支部事務局）

【参加者】 18名（うち一般参加者2名）

今回は建築と深く関わりのある「地下水」について学びました。特に地元東広島市西条地区は酒どころとして有名であり、おいしい仕込み水の源流である龍王山の湧水があります。講師の竹野先生は環境科学の分野から西条の水についての研究を継続されており、その特徴を非常に興味深く説明していただきました。東広島大切な文化である酒造りと、街の発展のための建設が共生していくような道筋を考えていければと感じました。

おいしい水とは？軟水と硬水のちがいは？といった話題から、実際にお水の飲み比べを行ったりし、質疑応答では多くの質問に対応していただきました。

【取組みの展開】 1-3-1, 1-3-2



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

今後も引き続き、市民に興味深いテーマとして、環境問題なども取り上げ活動していく予定です。

《所在地・連絡先》

〒739-0006

広島県広島県東広島市西条上市町5-26

TEL 082-437-3553

ホームページ <https://higashishibu.com/>

組織の概要

当社は、昭和50(1975)年10月、コンクリート二次製品メーカー 広築ブロック(株)の営業部門を分離し、新たに土木建設資材等の総合商社として、地域経済の発展を願い設立いたしました。

【事業の目的】

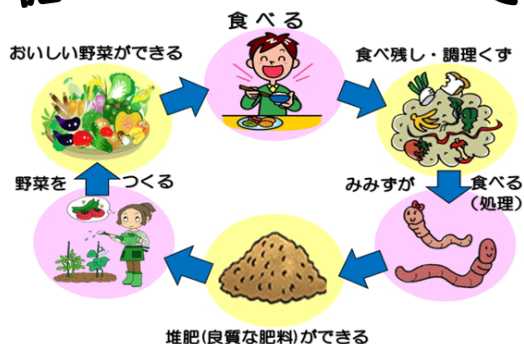
1. コンクリート二次製品の製造及び販売
2. 土木建築資材及び機材の販売並びに賃貸
3. 土木建築工事の請負及び施工
4. ミミズ及び生ごみ処理器の製造及び販売
5. 不動産の所有売買及び賃貸
6. 損害保険代理業



ミミズコンポスト事業は、市内の家庭や地域、学校や保育園などへミミズコンポストの魅力と意義を伝えて、ミミズコンポストの楽しさを知ってもらい、生ごみの減量と堆肥化を促進し、地域や家庭における循環社会を提案するものです。またミミズコンポストの楽しさや特徴など、電気も使わずに黄金の堆肥と液肥ができるミミズコンポストはもっとも地球環境に優しく、人にも優しい方法として皆さんに知って頂くことを目的としています。企業として地球環境に優しいことに繋がるようこれからも発信していきます！

ちなみに河内（東広島営業所）にはミミズ養殖場があり、いつでも見学ができます！環境教育の一環としてみみずちゃんに是非触れに来てください。いつでもお待ちしております。

循環型社会を目指して



ミミズの授業

2021年の主な活動

東広島ミミズプロジェクト

4月から東広島市環境先進都市推進課と一緒に東広島ミミズプロジェクトをスタート！市内の合計9カ所に大型ミミズコンポストを設置して、ミミズコンポストのお世話とそれぞれの施設で環境学習のお手伝いをしています。

- ・川上東部保育所 30名
- ・三津小学校 3名
- ・認定こども園 愛育園 20名
- ・東西条小学校 60名
- ・寄りん菜屋 5名
- ・認定こども園 ささなみの森（保育園） 3名
- ・認定こども園 ささなみの森（幼稚園） 30名
- ・こばとの森保育所 30名
- ・中黒瀬保育所 30名

【取組みの展開】1-1-2, 1-1-3, 2-1-1



テレビ局の取材



大型ミミズコンポストの設置作業



子どもたちがお出迎え

2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

大型ミミズコンポスト設置個所でのみみず授業（みみずのお話し、紙芝居、花植え、循環授業など）を年間継続して実施していきます。また要望があれば大型ミミズコンポストを施設（学校や飲食、福祉施設）に設置していきます。また市民に向けて公民館や各団体より依頼あればみみず講習会を実施します。ミミズ養殖場の解放と見学者対応していきます。触れる・学ぶ・楽しむ！！

《所在地・連絡先》

〒734-0013

広島県広島市南区出島一丁目33番61号 本社

TEL 082-253-6167

（広島県東広島市河内町入野4663-1 ミミズ養殖場）

ホームページ <http://www.kowas.co.jp>



組織の概要

広島大学が国立天文台から譲り受けた口径1.5mかなた望遠鏡を運用する母体として2004年に発足。理学研究科高エネルギー宇宙グループと協力して、かなた望遠鏡による可視光・赤外線観測と、フェルミ衛星などのX線・ガンマ線宇宙観測などを組み合わせ、宇宙における極限的な高エネルギー天体现象などの観測研究を推進しています。かなた望遠鏡がある東広島天文台周辺の良い観測環境を維持するための取組みの一つとして、国立天文台が音頭を取って2001年より推進してきた伝統的七夕・ライトダウンキャンペーンを2012年に中四国地方で初めて開催しました。たくさんの星々に親しみながら、電気エネルギー消費の無駄を省き、効率的な利用を心掛けるきっかけを与えるイベントとして毎年恒例のイベントとして旧暦の7月7日前後に開催しています。



西条の街並みに照らされた
東広島天文台ドーム棟



研究室メンバー（可視赤外線天文＋高エネルギー宇宙）

2021年の主な活動

当センターに事務局を置くライドダウンin東広島実行委員会が主催して例年、旧暦7月7日前後に実施してきた伝統的七夕・ライトダウンキャンペーンは、コロナ禍が収まらないため、昨年に引き続き中止としました。そのプレイベントとして開催していたサイエンス・パブも本年は中止としました。

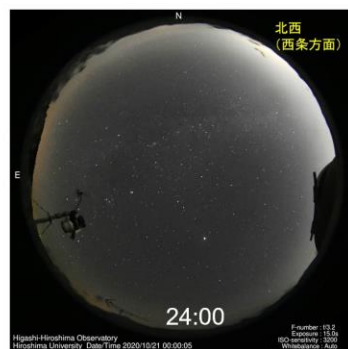
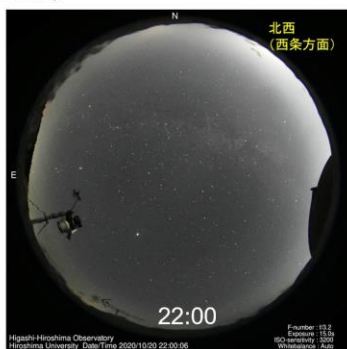
このため、表立ったライトダウンキャンペーン活動は行わなかったものの、新型コロナの感染状況が落ち着いた2021年秋に県内の団体からの希望に応じて開催した東広島天文台の見学会や観望会（子ども宇宙アカデミー、日本宇宙少年団広島分団、東広島市教育委員会、多文化子どもクラブ等、計8件、参加者約200名）、出張講座やオンライン講演会等（広島こども文化科学館、高大連携講座、西条ロータリークラブ、新天体搜索者会議等、計6件、聴講者約220名）において、西条の夜間の空は暗く大気も安定して星像がシャープであり、国内でも天文観測条件が良い地域であることを紹介しながら、光害について理解を深めていただく活動を行いました。

【取組みの展開】 1-4-1, 2-2-3, 3-1-1

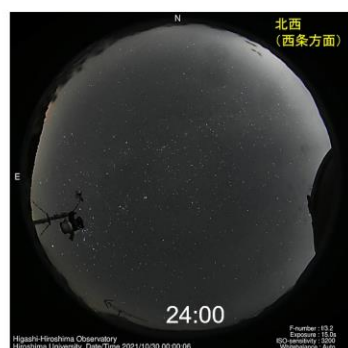
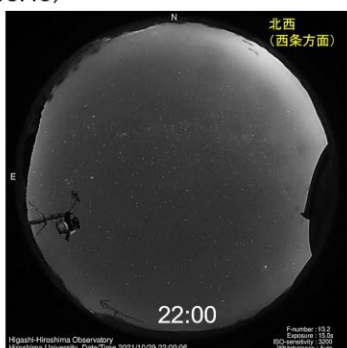
2021年の活動の写真として、宇宙科学センター附属東広島天文台（西条町下三永 福成寺付近 標高503m）における全天モニターの画像を紹介します（2020年と2021年の10月の快晴夜での比較）。コロナ禍中も、東広島天文台における研究活動は滞りなく行われました。普段は天文台が無人のまま、東広島天文台棟屋上に設置したスカイモニターで空の状況を確認しながら、大学キャンパスより遠隔操作で観測を行っています。スカイモニターの画像は1分ごとに記録していますが、過去の空の明るさや星の見え具合の実録としても有用です。写真にみられるように、宵のうちの生活時間帯（20時前後）は、22時以降に比べると明らかに空が明るいです。この傾向は昨年度も今年度も同様です。いずれも日没から2時間以上が経過していることから、この明るさは（太陽光ではなく）街明かりによるものであることがわかります。ちなみに、この空が明るい時間帯でも、東広島天文台では天の川が見えています。22時になれば、空は真夜中（24時以降）と同じくらい暗くなり、街中にいても、22時には周囲の明かりは真夜中とほぼ同じくらいまで暗くなると期待されています。このことから、街明かりを宵のうちから生活に必要なレベル（現状で22時ころの明るさ）に抑えることは不可能ではなく、不要な街灯を減らしたり、街灯自身を光害に適応したものに置き換えたりすることで達成できるのではないだろうか。「街中でも天の川が見える」エコで自然にやさしい街、西条の実現をめざし、活動が続けていきたいです。

東広島天文台から見た夜空(魚眼レンズで撮影)

2020.10.20(日没 17:32、天文薄明終了 18:52)



2021.10.29(日没 17:23、天文薄明終了 18:43)



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

コロナ禍が一定の収束をみたら、例年通りに旧暦の七夕(2022年は8月5日)かその少し前に、ライトダウンキャンペーンを実施したいと考えています。また、その1か月ほど前には、イベントとして、酒どころ西条を活かしたサイエンス・パブも実施したいと思っています。ただ、ライトダウンキャンペーンで実施している「星を見る会」の参加者が開催3年目には参加者が500名近くまで達したものの、その後は150-200名前後に低迷しており、また実際にライトダウンに協力してくれる店舗・事業所の輪が必ずしも広がってはいないことが課題となっています。この2年の充電期間を経て10周年を迎える2022年度には、新たな取り組みを打ち出したいと思います。

《所在地・連絡先》

〒739-8526

広島県広島県東広島市鏡山1-3-1

TEL 082-424-3468

ホームページ <https://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc/>

ライトダウンホームページ

<http://1601-031.a.hiroshima-u.ac.jp/tanabata/index.html>



組織の概要

エコネットひがしひろしまの設立時以来の個人会員で、家族で環境負荷のできるだけ小さな生活を心がけています。33年前の自宅建設を機に、「敷地内自立型の家づくり」を目指し、50年計画で計画遂行中です。当初から井戸水の積極的利用を進め、生活廃水も敷地内で浄化処理をして、給排水の自立を達成しています。2008年に家の断熱リフォームや太陽光発電装置の増設（新旧合計7kW）を行い、2013年にハイブリット車に乗り換えたこともあって、以来カーボンニュートラルを継続中です。昨年はヤリスハイブリットに乗り換え、太陽光発電装置の古いパワーコンディショナーに交換して、車を含む全家庭カーボン収支を、年間-856kgCO₂のカーボンネガティブにすることができました。

2021年の主な活動

私の100歳時に終了する「敷地内自立型の家づくり50年計画」も残り17年となり、仕上げの期間に入っています。水やエネルギーについては目標達成のめどはつきましたが、食料の自立は奮闘中です。今年は耕地の生産力向上や導入作物の選抜に努力しましたが、耕地面積が5アールと小さいため夫婦2人分の食料を敷地内で生産することは容易ではありません。耕地の有効活用を進め、せめて半年分の必要栄養量を確保できるように努力したいと思っています。また、今年は体調不良で里山整備をほとんど行えませんでした。廃棄物は発生量の削減と処理を進め、生ごみのたい肥化を継続し、ごみ集積所へのごみの排出量を最小限に維持しました。

【取組みの展開】2-1-1, 2-2-3

2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

引き続き敷地内自立型の家づくりを進めます。里山整備を再開し、暖房用の薪の入手に努めます。また、食料の自給率向上にも努力します。いずれも健康で働ける体であることが前提ですので、健康と体力づくりに励みます。

組織の概要

私たちすいすい倶楽部は、沼田川流域の水と共に暮らす人々と、楽しく希望に満ちた未来をつくるために2007年7月に住民有志が立ち上げました。当初は行政の協力もありましたが、平成の大合併を機に独立し、自由な発想で、沼田川流域の環境保全に関する活動や、東広島市のまちおこしに協力しております。

2021年の主な活動

- ① 2021年4月に書面で総会資料配布 賛成多数で総会成立しました。
- ② 活動は様子を見て行うことに決まりましたが、月一回の定例会はできるだけ行うこととしました。
- ③ 時節柄多くの事業は計画するも中止となり、今年も活動はしてありません。
- ④ オオサンショウウオの調査協力依頼もありましたが、中止となったようです。
- ⑤ アクアフェスタの淡水魚展示のために沼田川に入りましたが中止となり魚は川に返しました。
- ⑥ これからの活動予定としては、上下流交流で上島町の八朔狩りがありますが、様子見になります。

2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

- ・小中学校の総合学習協力
- ・アクアフェスタ
- ・生涯学習フェスタ
- ・シャクナゲダムの活用を考える（協力依頼あり）

《所在地・連絡先》

〒739-2303

広島県東広島市福富町久芳2417
(松永治寿)